



「会長退任挨拶」

日本複合・防音床材工業会 前会長
朝日ウッドテック株式会社
代表取締役社長 海堀 哲也

日頃より日本複合・防音床材工業会の活動に多大なるご支援ご指導を賜わり、誠にありがとうございます。

はじめに、現在世界的に流行しております新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、感染リスクと向き合いながら、日夜治療にあたられている医療従事者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、この度、令和2年6月16日の定時総会におきまして、4年間の会長の任期を終えました。

振り返れば、私が工業会活動に関わらせて頂くことになりましたのは、今から18年前の平成14年度になります。

当時、業界には、日本複合床板工業会と日本防音床材工業会の2つの工業会があり、各々がその特徴を活かした活動を展開していました。

まだ40歳そこそこであった新米の私が、両工業会の役員に名を連ねさせて頂き、業界の大先輩方にご指導を頂くとともに、本当にたくさんのごことを学ばせて頂きました。

その後、平成26年10月に、私の前任の大道会長(現永大産業相談役)のご尽力により、長年の課題であった2つの工業会の統合が実現し、後を引き継ぐ形で、平成28年度より会長の任にあたらせて頂きました。

会長在任中の4年間は、これも長年の課題であった「フロア台板の国産材化」、中でも「国産材基材の床暖房対応複合フロアの技術開発」に関して、林野庁ならびに日本合板工業組合連合会のご協力のもと、会員各社の皆様とともに取り組んで参りました。

本課題は、まだ道半ばではありますが、後任の金田会長におかれましては、なにとぞよろしく推進のほどお願いいたく存じます。

20年近くにおよぶ工業会活動と4年間の会長在任中、会員ならびに工業会事務局の皆さんの多大なるご協力ご支援に改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、業界の先行きが厳しくなる中ではございますが、引き続き金田会長のもと、当工業会のますますのご発展、ならびに会員の皆さまのご健勝を祈念しております。

どうもありがとうございました。



熱耐久試験を指導する海堀前会長（手前）